

三浦按針没後 400 年記念

特集

日本を世界へ導いた大航海時代の

平戸で眠る

キャプテン 三浦按針

十三浦按針之墓

うらりあしあたむ十

そして1620年、平戸の地で終焉を迎える

偉業を成し遂げる

新たな貿易の礎を築く

グローバルな心と日本への愛着をもち

大海原を乗り越えて、遠く離れた異国の地で

1564年、イギリスで生まれた一人の青年は

三浦按針交掃塚

William Adams



一躍英雄となる出来事がありました。ウィリアムはそのドレイク提督のもと、24才のとき『アルマダの戦い』に参加しました。「舵を右に取れ! 戻せ!」この戦いで、イギリス海軍は、世界の海を支配していたスペインの無敵艦隊に勝利し、世界を驚かせました。ウィリアムは立派な海の男へと成長したのです。戦争も一段落し、ウィリアムは、メアリー・ヒンという女性とロンドンの聖ダンスタン教会

そのころウィリアムは、イギリスから、北周りでアジアへ向かう探検隊に参加したことで、新たな航路を自分で発見したいという大きな夢を持つようになりました。そして、オランダからアジアに行く船団が、船乗りを探していると知ると、弟のトーマスを連れて、参加することを決めたのです。1598年6月、五隻の船団がオランダを出発しました。大西洋を南下し、太平洋を渡るという、とても

で結婚式をあげました。やがて2人の子どもにも恵まれました。けれども、すばらしい航海術を持つウィリアムには仕事の依頼がひっきりなし。家族とは、なかなか一緒に過ごせませんでした。夢を叶えるため大きな決断



あんじん Adventure of Anjin の冒険



1564年9月24日。ここはイギリスのジリングム、聖マグダレン教会です。赤ちゃん「ほんぎやあ...」父「おおお...! 元気な子だ! 名前はウィリアムとしよう!」母「すてきな名前ですね! 強くてかっこいい子になりそうだね」洗礼を受けたこの赤ちゃんが、のちに大冒険家となる「ウィリアム・アダムス」です。

少年時代のウィリアム



ウィリアムはたくましく、かっこいい少年へと成長していきました。弟トーマスや妹も生まれ、近くの川辺で兄弟いっしょによく遊びました。そのころ、ウィリアムが住むジリングム近くには、女王陛下の海軍基地がうつつてきて、白い帆をあげた軍艦がたくさん走っていました。ウィリアムは、船大工をしていたお父さんに頼みこんで、船乗りに必要ないろんな勉強をしました。やがて、ウィリアムは父親の知り合いで、ロンドン郊外で造船所を営むニコラス・デイギンズ師匠に弟子入りしました。ちょうどそのころ、イギリスの航海技術はスペインに追いつこうと、すごい勢い

ぼくもあんな大きい船で大海原に乗り出してみたいなあ

海の男と成長

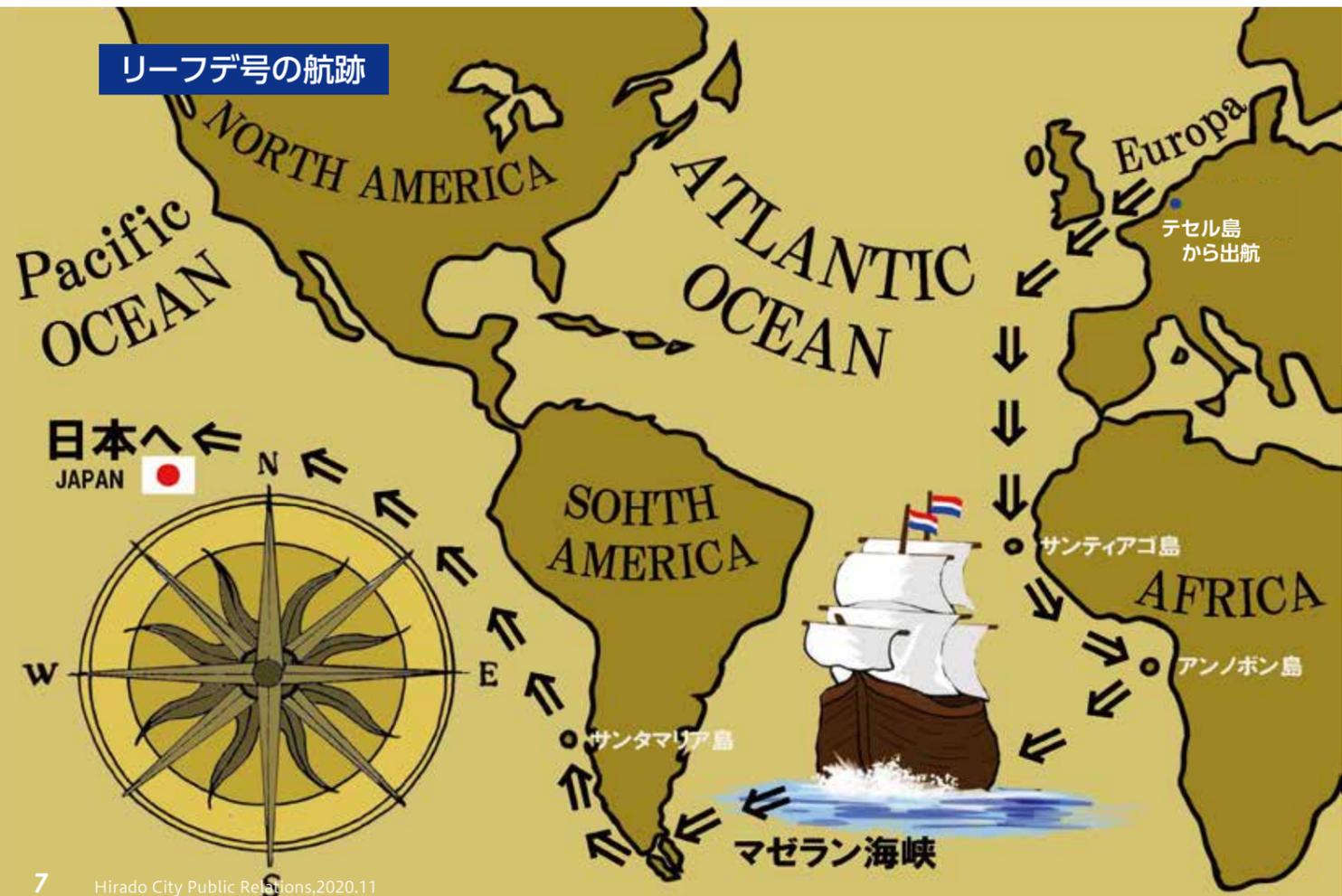
ウィリアムが17才の時です。同じジリングム生まれのフランシス・ドレイクが世界一周を成しとげ、女王陛下からナイトの称号を贈られて、



これで北極星の高さを測るんだよ

夜、海に出て船の位置がわからなくなったらどうすればいいんですか?

で発展していく途中でした。デイギンズ師匠の息子・ニコラスジュニアの指導のもと、ウィリアムは最新の技術をまたたくまに身につけていきました。ニコラスジュニア師匠は、ウィリアムを弟のようにかわいがり、一人前の船乗りに向けていきました。二人は生涯の友となりました。



危険な航海です。マゼラン海峡に着くころは、厳しい冬の嵐で、食料や水も底をつき、乗組員の数は日に日に減っていきました。船団は、敵のスペインやポルトガルにつかまったりはぐれたり、オランダに帰った船もありました。



それでもウィリアムのリーフデ号は何とか太平洋に出ました。しかし、食料を求めて上陸した島で、20人以上の乗組員が原住民の弓矢で殺されてしまいました。その中に弟のトーマスもいたのです。ウィリアムは深い悲しみに沈みながらも、ひたすら祈り続けました。

祈りがつうじたのでしようか。ウィリアムたちは、はぐれていた仲間の船ホープ号と、再び出会えたのです。



通訳をするために長崎からポルトガル人の宣教師がやって来ました。ポルトガルとイギリスは敵同士だったのでウィリアムたちは、自分たちが海賊だと、うその通訳をされるのではないかとにはらはらしました。不安げなウィリアムたちを、それでも白杵の人たちは親切にもてなしてくれました。

です。そして二隻は話し合って、ともに日本を目指すことにしました。この時・・・、太平洋の広さを誰も知らなかったのです。今度こそ順調にいくと思つた旅。けれども、ハワイ沖を過ぎたころから経験したことのないような嵐になりました。次々におそってくる波に、二隻の船はもまれながらも進んで行きました。「あつ、ホープ号が見えない!」

日本(ジパング)に到着

過酷な航海に苦しみながらも、ウィリアムたちはとうとう日本を見つけたのです。



「もしかしたら、処刑されるかもしれない。」
そう思うと、不安で胸がはりさけそうでした。

徳川家康と面会

1600年5月12日。ウィリアムは、大分県臼杵から王様が住む大阪城へと連れていかれました。お城は、惜しみもなく金箔が貼りめぐらされた、とても豪華なところでした。家「面を上げよ」
ウィリアムは覚悟を決めて、おそるおそる顔をあげました。そこには、王様のあたたかな眼差しがありました。王様の名前は徳川家康といいました。

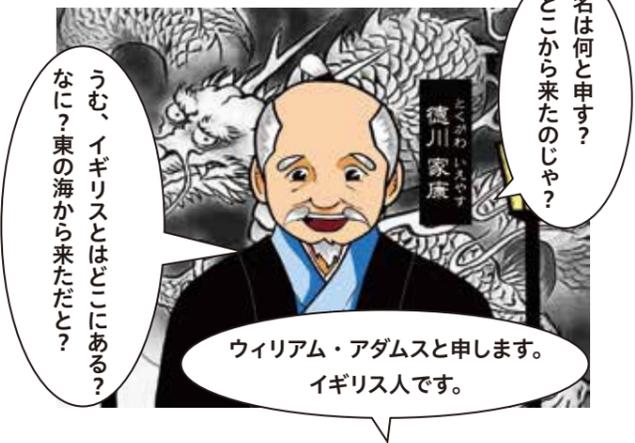


オランダから出発したときに110人いた乗組員は、24人に減っていました。そのうち、自分で立つことができた者はたった7人しかいませんでした。オランダを出発して1年と9カ月。大西洋と太平洋をこえた長くてつらい航海でした。



日本人の待遇に感動

しばらくすると、たくさんのお小舟



ウィリアム・アダムと申します。イギリス人です。

下をとっておらず、次の將軍をめざして、大きな戦の準備をすすめていました。ウィリアムは何度も家康によれば、世界の様子や戦争でどの国が争っているのかを話しました。ほかに家康は、数学や天文学などの科学の話にとても興味を持ちました。ウィリアムが地球儀を使って、イギリスと日本を結び、北方航路の話をしたその時です。

がリーフデ号に向かつてやってきました。ウィリアムたちには、抵抗する力も残っていませんでしたが、白杵の人たちは、ウィリアムたちに乱暴なことをするどころか、食べ物を分けてくれました。



ウィリアムたちは、白杵の人々のやさしさにいたく感動しました。

日本人はなんてやさしいんだ見知らぬおれたちを助けてくれるなんて!

好奇心にあふれた家康の質問は、夜中まで続きました。とくに、ウィリアムたちがマゼラン海峡を通った航路を説明すると信じられない様子でした。四日後も、再び家康に召し出され、航海の目的などさまざまな質問が続きました。通訳のポルトガル人は「ウィリアムたちは海賊だ」とうそを言い続けました。けれども聡明な家康は、ウィリアムたちを信じしてくれたのです。

お互いの夢が一致

実は、そのころの家康は、まだ天



このとき、家康とウィリアム、二人の夢が一致したのです。

日本で最初の洋式帆船を建造

家「ウィリアム、リーフデ号のような帆船をつくるのじゃ！」
家康は、ウィリアムに洋式帆船をつくるように命じました。
ウ「家康さま、私は航海士なので船をつくったことはありません。」
家「失敗してもよい。日本の船より沈みにくい船をつくってみよ！」
船を造るには、優秀な船大工が必要で。幸いなことに、生き残ったリーフデ号の仲間船大工がいました。川があり、材木が豊富な静岡県伊東が最適の場所として選ばれました。ウィリアムたちは 図面をかき、川辺を掘り下げてドックをつくり、寝る間も惜しみ働き続けました。そして・・・



観衆「おお、なんてすばらしいんだ！日本で最初となる、80トンの洋式帆船が見事完成したのです。」
家「でかしたぞ、ウィリアム！あっぱれじゃ！」
家康は自ら船に乗り、手を広げて子どものように大喜びしました。
家「この船には、日本中の大名も腰を抜かすことであろう。ウィリアム、もっと大きい船をつくるのじゃ！」
ウィリアムは、この願いにもこたえ、今度は120トンの見事な船を江戸の海に浮かべて見せたのでした。家「よくぞこの家康の望みをかなえてくれた。駿河のわしの城へ来るがよい。ほうびをつかわす！」



ウィリアムアダムスから三浦按針へ

しばらくしてウィリアムは駿河、今の静岡県にある家康の城に向かいました。するとそこには、家康がたくさんのほうびを用意して待っていました。



家「ははははっ！領地も与えよう。そして嫁もとるのじゃ！すえながく住んでわしの力になってくれ。」
ウィリアムはイギリスに残した妻のメアリーを思い出しましたが、断ることはできませんでした。

故郷に帰りたいという想い

入りに探検しました。
幸せな毎日でしたが、ウィリアムは故郷の妻やニコラス師匠に、自分が生きていることを知らせたくて我慢できなくなる時がありました。ふるさとが恋しいときは何度も手紙を書きました。それは送る宛でもない手紙でした。家康の機嫌のよい時に思い切つてイギリスに帰りたいと願いました。返事はありませんでした。



二隻のオランダ船が平戸へ

1609年ウィリアム43才のころ、二隻のオランダ船が、長崎の平戸へ着いたという知らせがありました。

リーフデ号の乗組員を平戸の殿様が、アジアのオランダの基地へ送り届けた縁で、平戸へ船が着いたのです。
ウィリアムは船長を家康や將軍秀忠に紹介し、貿易を許してもらいました。そうして、ウィリアムは平戸の貿易を助け、平戸にオランダ商館の倉庫などが次々に建てられていきました。



「私が日本で生きている事をイギリスの家族に伝えられるかもしれない」
ウィリアムに希望と力がわいてきました。

平戸英国商館のために働く

やがて、イギリス東インド会社が広くアジアに進出しました。ウィリアムはそこへ貿易をすすめる手紙を



はい！家康様のためにもっと働きます

書き、1613年、平戸にイギリス商館が開かれることになりました。ウィリアムはイギリスのため、一生懸命働きました。

家康の死

1616年、タイから帰る途中の東シナ海。船長室で寝ていたウィリアムは、家康からの手紙を受け取る夢を見ました。

「按針よ、わしはもうすぐ、この世を去らねばならない。そなたをイギリスに帰らせてやれなかったことだけが心残りじゃ。わしとの夢を果たすために日本に残ってくれたのじゃな。うれしかったぞ。お前と出会えて、おもしろい日々であった。友よさらばじゃ。」

すると、家康から驚くような言葉をかけられました。
家「按針よ、そちは今もイギリスに帰りたいのか？」
ウ「はい、故郷のことはひとときも忘れたことはありません。」
家「そうであろう。そちは日本のためによく働いてくれた。・・・帰国を許す。」
ウィリアムは、喜んで平戸へ帰りましたが、ふと家康との夢を思い出しました。



光栄でございます。家康さまのためにも、また日本とイギリスのためにもこの按針、一生懸命働きます。

逸見は今の神奈川県横須賀市であり、とても恵まれた土地でした。「按針」とは水先案内人のことです。結婚は、ウィリアムを日本から帰さないための、家康の作戦でしたが、妻のゆきは優しく、領民や異国の客からも慕われる人でした。やがて子ども二人生まれました。
ウィリアムは、將軍となった家康の外交顧問として働き、二人の夢、北方航路開拓のために、北の海を念

「私はまだ、北方航路を発見していない・・・」

「ただの夢ではなく、日本へ帰ると、本当に家康は亡くなっていました。家康が亡くなった後、イギリス商館はこれまでのように自由に仕事ができなくなり、貿易は平戸と長崎だけに限られてしまいました。それでもウィリアムは、これまで以上に働きました。」



ウィリアム・アダムス「三浦按針」没後400年を迎えて



三浦按針没後400年
記念事業実行委員会
委員長 小関 彰博

「我々はいつまでも友人である」 先人たちが未来に託したメッセージ

1 641年、若き平戸藩主・天祥鎮信公は、平戸から長崎の出島に移転するオランダ商館長カロンとの別れに際して「我々はいつまでも友人である」と伝えた記録が残っています。今回の「三浦按針没後400年記念事業」もその文脈の中にあると感じて実行委員長を引き受けました。

ウィリアム・アダムスの助力無しには平戸に英蘭商館は存在しなかったでしょう。彼は私たちの大切な友人と言えます。アダムスの物語が人々を引きつける理由を考えてみましょう。

第1に、中世から近世への最終カーブともいえる時に生を受けたことでしょう。英国はスペイン無敵艦隊を破り、中世の世界地図を塗り替えようとしていました。まさにその時の最先端の航海技術を身につけたアダムスが、数奇な運命の旅路で出会ったのが家康です。

第2に、逆境に立ち向かう強さに惹かれます。太平洋横断を成し遂げ、ポルトガル人宣教師からのフェイクニュースを退けて家康の信頼を勝ち取りました。家康とアダムスの主従を超えた友情が記録から読み取れます。

第3に、手紙や記録が豊富に残っていることでしょう。故郷に残した妻子に、自分が極東の国で生きていることを知らせようとする「未知なるわが同胞へ」という手紙は今も涙なしには読めません。コックスの英国商館長日記にもアダムスがよく登場し、この紙芝居の強力な出典となりました。

国際交流HIRAの会では、1995年から命日近くの5月最終日曜日に毎年「按針忌」を行い、彼の偉業を偲んでいます。そのおかげで、国内外に多くの知人、友人を得ました。当初、式に参列されたオランダ総領事はオランダ商館復元構想に強く感動され、当時の平戸市長と実現に向けて商館復元の歯車が動き出しました。

英国総領事からは東インド会社研究の第一人者・大英図書館副館長フーリントン博士を紹介していただき、アダムスの手紙や平戸英国商館についての助言を頂きました。アダムスの故郷ジリಂಗムや聖マダレナ教会とのお付き合いもその時に始まって今に至ります。

アダムス研究家、関西学院大学のリチャード・アービング教授も大切な友人です。2人で長年、崎方公園三浦按針墓地の片隅にある自然石の塚を発掘する夢を描いていました。有難いことに、在日英国人を中心としたアダムスクラブから寄付の申し出があり、平戸市が発掘調査を行いました。まだ、出土した遺骨がアダムスであると断定はできませんが、埋葬年

代や年齢はアダムスと合致し、欧州の西北の地域生まれであることなど、アダムスを否定する要素は見当たりません。ただ、子孫を特定できるような材料は十分でなく将来の技術の進歩に期待しましょう。

今回、400年記念事業にあたり、少しでも後世に残るものはないかと委員会で紙芝居作成の提案がありました。実際、三浦按針という名前は知っていても、その生涯について語れる人は少ないと思います。脚本は史実を基に、家康とアダムスが共通の夢に向かって生きていく姿を中心に描きました。そして、市内在住の米倉裕治氏が素晴らしい原画を描いてくれました。この紙芝居で若い人に、人生を導く夢を大切に育むこと、また友情は国籍にかかわらず生まれるものだと気づいてもらえたら幸いです。

日本と英蘭両国とは第2次世界大戦など悲惨な歴史もありました。私たちは今、それを乗り越えて、冒頭の天祥公の言葉のスタート地点に立っていると見えるのかもしれませんが。

病に倒れる
1619年3月、ベトナムから平戸へ戻る船の上・・・これが海の男ウィリアムの最後の航海となったのです。



ウィリアムは、熱帯性の病気にかなり床に就くようになりました。自分の死を感じ始めたウィリアムは、家族や友人、召使いにも財産を残す遺言書をつくりました。

「ああ、とうとう帰ることはかなわなかった！イギリスにいる、家族は元気になっているだろうか。」
「ニコラス師匠！夢のようなわたしの航海の話をしたかった！」

「家康さま、私たちの夢を果たせなかったことをお許しください。」
平戸の地で最期を迎える
1620年5月26日、ウィリアムは55才の生涯を終えたのでした。ウィリアムは平戸崎方の遠見の丘に埋葬されました。ウィリアムの冒険はその後、イギリスで出版された本で有名になり、ガリバー旅行記のモデルとして、また映画や演劇などで、今も世界中の人々に感動を与え続けています。



※ このイラストおよび文章は、三浦按針400年記念事業三浦按針教材作成で制作したものを利用しています。また、紙面の都合上、吹き出しなどを使って一部編集しています。無断使用・無断転載などを固く禁じます。



三浦按針没後400年事業

2020年は三浦按針ことウィリアム・アダムスの没後400年にあたります。三浦按針の終焉の地である平戸市においては400年の記念事業を開催するにあたり、令和元年度から今年度まで準備なども含めて各種事業に取り組みました。平戸市のオランダ商館、英国商館設置など日本と海外との交易の礎を築いた按針の功績を後世に伝えるため、彼の遺徳を偲び、その功績を顕彰するために実施した事業を紹介します。

按針イラスト作成

多方面に活躍するデザイナーにより、広い世代から親しまるようなデザインが完成。ポスターやチラシなどに活用していきます。

ロゴマーク



ポストカード用デザイン



按針パンフレット作成

按針に特化した観光パンフレットを作成し、市民および観光客に按針と市内のゆかりの地をPRします。今後は、



市内外の施設や記念式典などで広く配布していきます。

また、併せてSNSなどを活用しPRを行います。

コックス甘藷畑の活用

按針が航海の折、琉球から持ち帰った甘藷(サツマイモ)を英国商館長リチャード・コックスが日本内地で初めて植えたこととされる県指定史跡「コックスの甘藷畑」を活用し、イモの植付や収穫を行っています。収穫したイモの一部は、イベントなどで活用し、同時に按針の功績と「コックスの甘藷畑」のPRも行っています。



按針バラ園整備

市民団体である平戸バラ会が主催となり、佐世保バラ会の協力のもと按針没後400年を契機としてイギリスの国花であるバラを按針の墓地がある崎方公園に植えました。これにより、郷土の歴史やゆかりの場所などを市内外の人たちに広めていきます。また三浦按針に因んだバラの新品種「ウィリアム・アダムス」を平戸城や平戸大橋が見えるバラ園に植え、崎方公園一帯を新たな平戸の観光名所として按針の功績を市内外の人たちに知ってもらうようにPRしていきます。



按針バラ園のライトアップを実施

11月14日(土)～23日(月)
午後6時～午後8時

※14日(土)午後6時からイルミネーション点灯式を行います。当日は、平戸バラ会によるバラ茶が振る舞われます。



ANJINこども英会話

イギリス人である按針にちなんで幼児・小学校低学年向けの英会話教室を市民団体主催で行い、幼少期から郷土の歴史と英語に触れる機会をつくっていきます。



三浦按針没後400年式典延期のお知らせ

「三浦按針」ことウィリアム・アダムスゆかりの4市(大分県臼杵市、静岡県伊東市、神奈川県横須賀市、平戸市)が連携し立ち上げたANJINプロジェクト連携協議会および平戸市の記念事業実行委員会において、按針の功績を顕彰し連携自治体の魅力を発信するため「三浦按針没後400年式典」などの事業を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、下記行事について正式に延期することになりました。

三浦按針没後400年式典／第7回ANJINサミット

- とき **令和3年5月29日(土)**
- ところ **平戸文化センター**

按針忌

- とき **令和3年5月30日(日)**
- ところ **崎方公園三浦按針墓地**

※「三浦按針没後400年式典／第7回ANJINサミット」につきましては、来年になり新型コロナウイルス感染症などの影響で開催が困難と判断された場合は、再度延期は行わず中止となります。

アダムス文庫事業

平戸図書館において、三浦按針に関する書籍などを集積し、按針コーナーを設置して広く按針の功績をPRしています。

市民の皆さんもこの機会に、市立図書館に足を運んで、按針に関する本を読んでみてください。



三浦按針教材作成

三浦按針の生涯を子どもたちに分かりやすく伝えるため、教材資料として紙芝居「あんじんの冒険」を作成し、市内の小中学校、図書館などに配布します。

